

年 度 評 価 シ ー ト

課名 動物愛護センター

施設の名称 静岡市動物愛護館	指定管理者名 一般社団法人静岡県動物保護協会
1 履行状況	
目標達成	
ア 5年後（指定管理期間最終年度・令和8年度末）の年間利用者数	
目標値11,000人、	
実績値14,491人（来館者13,826人＋電話相談665人）（前年度：13,595人）	
達成率131.7%（前年度比106.6%）	
イ 年間イベント数	
目標値12回以上	
実績値13回（前年度14回）	
達成率108.3%（前年度比92.9%）	
(2) 人員配置状況	
平日（休館日除く）、土、日、祝日2人、休館日（月曜日及び年末年始）1人	
ただしイベント開催日は必要に応じ増員（3～4人）	
(3) 維持管理業務	
清掃業務、機械警備業務については第三者委託により実施し、各業務とも事業計画に基づき行われた。	
(4) 事業（イベント等）実施状況	
主な事業の参加者数	
・ワンちゃんプールで遊ぼう 187人（前年度141人）	
・保護猫譲渡会 97人（前年度117人）	
・動物大好きフォトコンテスト展示会 213人（前年度132人）	
・子犬のしつけ教室 14人（前年度 6人）	
・犬・猫の譲渡 犬 1頭、猫41頭（前年度 犬 0頭、猫 38頭）	
・飼育相談など（来館者・電話） 1,585件（前年度1,930件）	
【検証・分析等】	
・利用者数	
令和7年度の来館者数は13,826人（大人10,238人、中学生以下3,588人）で、前年度の12,774人と比較すると約8%増加した。また、来館者以外に電話による相談も受け付けており、令和7年度の電話相談件数は665人で、前年度の821人と比較すると約19%減少した。来館者と電話相談を合わせた年間利用者数は14,491人となったが、これは目標数値の11,000人（指定管理期間が満了する令和8年度末の年間利用者の目標数値）を約31%上回った。このことから目標値は達成したので期待を上回る結果といえる。	
・事業実施状況	
動物愛護に関する講習会等の開催、動物に関する図書・資料等の展示及び閲覧、飼育相談、動物ふれあい広場の開設、動物の譲渡に関すること等、動物愛護館の運営・管理	

に関する事業を実施した。 体験学習（インターンシップ）・社会見学の受入れ人数は、令和6年度の352人（学生274人、大人78人）に対し、令和7年度は515人（学生458人、大人57人）と約46%増加した。一方、わんわん教室・出張出前講座は、令和6年度参加者218人（大人133人、小人85人）に対し、令和7年度は203人（大人35人、小人168人）と、前年と同等の実績であった。 イベント事業は、事業計画や管理運営業務仕様書に基づき確実に実施されており、目標である「年間イベント数12回以上」を上回る13回実施し、目標は達成できている。 また、これらの実施事業については、協定書で定められたとおり、四半期ごとに市へ定期報告書が提出されているとともに、市（動物愛護センター）が実施する朝礼には動物愛護館職員も毎回参加し、その日のスケジュール等を相互に報告、確認することで市との連携や情報共有も円滑に行われている。 【確認結果】 ○：協定書等の内容が適正に履行されている。	2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）				
【具体的な意見・要望の内容と対応状況】 意見等： ・犬猫の楽しいイベントを開催してほしい。 ・ワンちゃんプールを継続してほしい。 ・交流イベントを開催してほしい。 ・しつけトレーニングを少人数で複数回実施してほしい。 ・施設が古いものの動物にふれあえる機会があるため、また来館したい。 対応：イベント開催のお知らせを広く周知するために、市広報紙には着実に情報を掲載した。市民からの意見・要望を参考に、令和6年度より「子犬のしつけ教室」を開催している。 【検証・分析等】 市民（利用者）からの意見、感想やイベント講師の意見を参考に、より魅力的なイベントとなるよう取り組んでおり、市民からの意見・要望等に対しては適切な対応がとられているといえる。このほか、市民からは施設の老朽化に伴うリニューアル（ドックランや飼い犬や猫を連れていけるカフェの設置等）の要望等も出ているが、これについては、市（動物愛護センター）による再整備計画の中で対応していくこととする。 【確認結果】 ○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。	3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価				
イベント参加者及び犬猫のふれあい等を目的として通常の来館者にアンケート用紙に記入してもらう方法で調査（満足度・施設利用頻度）を実施した。 （1）利用者満足度調査 【調査結果】 回答者総数：173人 利用者満足度 <table data-bbox="311 1960 917 2042"> <tr> <td>① 満足</td> <td>81%（前年度84.5%）</td> </tr> <tr> <td>② やや満足</td> <td>16%（前年度 10%）</td> </tr> </table>	① 満足	81%（前年度84.5%）	② やや満足	16%（前年度 10%）	
① 満足	81%（前年度84.5%）				
② やや満足	16%（前年度 10%）				

- ③ どちらともいえない 1%（前年度 3%）
- ④ やや不満 0%（前年度 0%）
- ⑤ 不満 0%（前年度 0.5%）
- ⑥ 未回答 2%（前年度 2%）

【検証・分析等】

「満足」と「やや満足」で97%を占め、前年度に引き続き高い満足度であり、良好な評価を得ているといえる。また、ふれあい動物との接触を楽しみに毎週のように来館される熱狂的な一部のリピーターがいる一方で、「施設利用が初めて」との回答が全体の59%あったことから、初めてのイベント参加者をリピーターに積極的に取り込んでいくことが重要といえる。

（2）市民アンケート（施設利用者に限定しない市民一般を対象としたアンケート）

【確認結果】

—：未実施

（3）その他の調査

【確認結果】

—：未実施

4 指定管理者の経理状況の評価

【収支状況】

指定管理業務の収支状況については、適正に執行されている。

【検証・分析等】

概ね予算どおりに執行され、5,052円の歳出超過となった。これは、人員配置などにおいて、指定管理者制度のメリットを活かした柔軟な対応がなされた結果である。

令和8年度以降も安定した業務運営を推進することが重要であるが、一方、人件費を含む物価高騰の状況が継続していることから予断を許さない状況にあるといえる。

また、施設の老朽化に伴う修繕費の支出増も相変わらず危惧されるが、これについては、管理運営業務仕様書の規定に基づく運用を行うとともに、疑義が生じた場合などは市と指定管理者が協議することにより、今後も適正な負担割合を決定していくこととする。

【確認結果】

○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

【検証・分析等】

令和7年度に指定管理業務において事務事業事故及びミスの発生はなかった。指定管理者におかれては、今後も引き続き、安全・安心かつ円滑な運営をお願いしたいと考えている。

また、物価高騰等に伴い、指定管理者にとっては引き続き厳しい経営環境ではあるが、今後も、市と連携を図りながら、指定管理者の高い専門性やノウハウといった強みを活かした施設運営を期待したい。

【評価結果】

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。